

豪雨に逆らわず 白峰の民宿に避難

第9回 2017年7月25日～26日 白山南竜PW

第9回PWリーダ伊藤俊成さんが、KUWVOB ホームページに投稿したものを転載

2017 白山南竜集中 PW

7月25日(火)～27日(木)に予定しておりました今年の白山南竜集中PWは、残念ながら「線状降水帯」の威力に吹き飛ばされ、中止いたしました。

とりあえず25日(火)の朝に市ノ瀬の登山センターに集合し、最終判断となりましたが、降り続く豪雨にメンバの年齢を重ね合わせると、山へ向かうという解は見つかりませんでした。(ちなみに合津先輩は「喜寿」だそうです、一番お元気でした)しかし、せっかく集まったのだから白峰の民宿で一泊し、懇親を深めようということになり、これには直ちに全員が賛成となりました。

当日は白峰村全体が休みであるということ、また急なことから宿探しにいささか苦労をしましたが、「山和荘」という民宿の御好意で、素泊まり&外食が可能となり、また宿の温泉も素晴らしく、南竜ケビンとは異なる楽しい一晩を過ごすことができたのは何よりだったと思っています。

翌朝は曇り空、山にはガス、誰も山へ向かおうということはなく、開山1300年のお祝いPWは幕を閉じることとなりました。

このPWも来年は10回目、我々世代では最終回となる予定です。順調に高齢化が進み、誰もが体のあちこちにトラブルを抱えるようになりましたが、お互い来年の再会まではと意を決したことは言うまでもありません。

以上、ご報告申し上げます。

9期 伊藤俊成

元気な声で「行ってきます」&無事な姿で「ただいま」

ワンゲル活動は、自宅を出る際に、「行ってきます」と元気に言うことから始まります。そして、「ただいま」と言って、無事な姿を見せることで、ワンゲル活動が完結します。

今回の第9回白山南竜PWでは、別当出合いに集合した皆さんが南竜ケビンまで行きつくことができたかどうか問題ではありません。自宅を元気に出発したときに白山南竜PWが始まり、無事に自宅に到着したときにそのPWが終わったのです。

白峰の大和荘に急遽避難したPWの参加者はベテランぞろい。沈殿の時間を大いに活用して、白山南竜のケビンに集うと同じように、有意義な楽しい一晩を過ごされたようです。

そう語る筆者は、突然の腰痛で、「行ってきます」も言えず、ベッドで寝がえりもできない状態です。白山南竜PWに参加できず、我がハートは、白山に負けないくらいの豪雨でした。